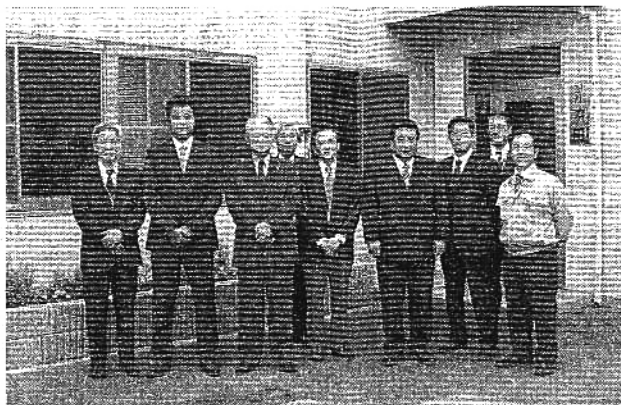


バッテリーで排出権購入

太陽光発電で蓄電も

浜田

金属スクラップや蛍光灯などのリサイクル事業や産業廃棄物の収集運搬などを手がける浜田(大阪府高槻市、浜田篤介社長、☎072・678・



同社を訪問した奥本高槻市長

6601)は、7月からバッテリーリユース事業で排出するCO₂をカーボンオフセットするサービスの利用を開始した。廃棄されたバッテリーをリユース処理した際に出るCO₂を相殺する仕組み。CO₂の排出権は、

植林や新エネ技術プロジェクなどから、排出権を調達しているカーボンニュートラル社と提携するリサイクルワンから購入する仕組みとなっている。また、

5月30日には本社工場に、奥本務高槻市長が訪問。各事業を視察した。同社は、バッテリーのリユース事業や金属やオイルなどのリサイクル事業について説明した。

事業は、工場や企業などで一度使用されたバッテリーに処理を施し、製品として出荷している。2年ほど前から工場に取り付けた太陽光パネルで発電した電力も蓄電している。